平成26年8月28日

大阪大学

情報科学研究科

西尾 章治郎 教授

情報科学研究科

ヒューマンウェア博士後期課程プログラム第一期生

徳山 健斗

ビデオレター撮影のお願い

拝啓、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび潜在的なヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム学生の勧誘に向け、来る9/29(月) に学部3，4回生を対象としたセミナーを開催することになりました。つきましては、ご多忙中誠に恐縮ですが、西尾先生に情報科学研究科を代表してビデオレターという形で出演して頂けないかと思い、ご連絡差し上げております。撮影内容に関しては下記の通りです。

　先生のお話は、学部生に対しヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラムを人生の選択肢の一つとして考えてもらうために、非常に有益な指針になると確信しております。

　なお、お手数ですが、ご都合のよい時間を9月4日(木)までにお返事を頂けますと幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日時 9月8日～20日10時～18時のどこか、１時間程度。

2. 場所 先生ご指定の場所。

3. 形式 学部生に向けたメッセージ、学生によるインタビュー。

4. 内容 次頁をご参照ください。

以上

【先生にお話し頂きたい内容】

* 先生の経歴、研究内容の簡単なご紹介。
* ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラムの魅力および必要性。

【学生によりインタビューさせて頂く内容】

* 先生が学部生の時には自分の将来についてどうお考えでしたか。
* 先生が博士進学を決意したのはいつでしょうか。また、どうして博士進学を選んだのでしょうか。
* 最近の理系は修士卒で就職することがスタンダードになっている感じがありますが、先生は博士進学のメリットをどうお考えですか。
* 先生はプログラムコーディネーターとして、どのような学生にヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラムを目指してほしいとお考えでしょうか。
* 現在、博士号取得者の就職難が問題になっていますが、就職面でヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラムを選択した学生とそうでない学生とがどう違ってくるとお考えでしょうか。
* 異分野の学生との融合研究を通して、どのような博士人材が育つことを期待されていますか。

インタビュアー：情報科学研究科　進 寛史